

予算のあらまし

4月に行われた市長選挙の関係で、義務的経費中心の「骨格予算」と政策的経費や投資的経費などの「肉付け予算」および6月補正予算を合わせた予算となります。新型コロナウイルス感染症による危機を早期、かつ確実に乗り越えるための必要な措置に加え、長期的な施策展開を見据えつつ、市民ニーズや必要性を重視した編成を行いました。

◎財政課 ☎0968(25)7202

令和3年度は、経常経費などを厳しく見直しながら経費削減に努め、次の世代へ負担を強いることがないよう、緊急性や実効性の高い事業を優先して各種事業に取り組みます。今まで以上に計画的な行財政運営を行い、「第2次菊池市総合計画」の6つの分野に基づき、それぞれのプロジェクトを進めていきます。

6つの分野

1 産業と経済
基幹産業である農業については、地理的表示（GI）を取得している「菊池水田ごぼう」をはじめとした農林畜産物の消費拡大を図り、

更なるブランド力の強化・推進に取り組みます。
創業支援については、初期投資の補助や商工会と連携した個別相談会を実施し、創業率の向上を図ります。さらに、従来の創業セミナーを「きくち起業塾」として内容を拡充し、伴走型支援を強化します。
新型コロナウイルス感染症で多大な影響を受けた中小企業などの経済再生支援を図ることを目的とした利子補給補助を実施します。

2 教育と文化
学校施設については、「菊池市学校施設等長寿命化計画」に基づき、泗水中学校長寿命化改良工事を引き続き進めます。
人財育成については、関係団体と連携し、引き続き「森の学校・きくち」を実施します。「プラチナ未来人財育成塾」についても、引き続き中学生を派遣し、未来のリーダーとしての素養を育む機会を提供します。
図書館については、中央図書館と学校図書館との連携を進め、児童・生徒の発達段階に応じた読書活動を推進します。また、市民の図書館での調査研究を支援するとともに、資料の充実を図り、課題解決型図書館を目指します。

3 保健と福祉
新型コロナウイルス感染症拡大防止および重症化予防の観点から、希望する12歳以上を対象にワクチン接種を実施するための体制を整備します。
健康寿命の延伸を図るため、特定健診や後期高齢者健診の受診率向上対策を実施し、健診結果に基づいた保健指導の充実に努めます。また、アプリを活用した健康ポイント事業など、自主的な健康づくりを支援する「市民健康プログラム」の充実を図ります。
まち「ウォーカーカブルシティ」の整備を進めます。
道路整備については、現在着手している路線の早期完了を目指すとともに、橋りょうなどの維持管理については、計画に基づき効率的に整備を進め、利便性の向上と交通の安全確保につなげます。

4 自然環境と安全
地下水対策事業については、これまでの調査結果を踏まえ、硝酸性窒素濃度における増減要因の分析など、新たに詳細な調査を実施します。また、地下水対策協議会において実効性のある対策についての協議・検討を図ります。
交通安全・防犯対策については、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、カーブミラーなどの交通安全施設や防犯灯、防犯カメラの整備を計画的に実施します。また、子どもたちが安全に安心して通学できるよう、歩道整備やカラーリングなどによる通学路の整備を進めます。

5 都市基盤と生活基盤
花と緑にあふれたまちづくりについては、市民をはじめ学校や育苗企業などと連携協力し、まち全体がいつも花であふれるような取り組みとして「一家一花運動」を展開し、癒やしと景観整備を図ります。また、「かわまちづくり」と連動しながら、歩ける滞在型の

6 歳出
主な事業としては、中学校長寿命化改良事業（8億4,291万円）、道路橋りょう維持事業（6億2,700万円）、公共施設等整備事業（3億2,892万円）、道路橋りょう新設改良事業（2億6,784万円）、公営住宅ストック総合改善事業（1億1,040万円）、新型コロナウイルス感染症対策事業のワクチン接種の体制整備（3億1,418万円）などです。

まち「ウォーカーカブルシティ」の整備を進めます。
道路整備については、現在着手している路線の早期完了を目指すとともに、橋りょうなどの維持管理については、計画に基づき効率的に整備を進め、利便性の向上と交通の安全確保につなげます。

7 歳入
自主財源である市税は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減収が推測されることから、前年度から9.1%の減を見込みました。国・県などの特定財源と地方交付税などを加えても不足する歳入に見合う財源は、将来の健全な財政運営を検証し、地方交付税の振り替えである臨時財政対策債5億8,950万円の発行と、財政調整基金を1億2,450万円取り崩すことになりました。

骨格予算と肉付け予算及び6月補正予算を合わせた一般会計予算は、294億8,829万円です。

予算の規模

自主財源である市税は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減収が推測されることから、前年度から9.1%の減を見込みました。国・県などの特定財源と地方交付税などを加えても不足する歳入に見合う財源は、将来の健全な財政運営を検証し、地方交付税の振り替えである臨時財政対策債5億8,950万円の発行と、財政調整基金を1億2,450万円取り崩すことになりました。

ホームページに「令和3年度予算書」と分かりやすい「市民向け予算説明書」を掲載していますので、ご覧ください。

令和3年度は、経常経費などを厳しく見直しながら経費削減に努め、次の世代へ負担を強いることがないよう、緊急性や実効性の高い事業を優先して各種事業に取り組みます。今まで以上に計画的な行財政運営を行い、「第2次菊池市総合計画」の6つの分野に基づき、それぞれのプロジェクトを進めていきます。

更なるブランド力の強化・推進に取り組みます。
創業支援については、初期投資の補助や商工会と連携した個別相談会を実施し、創業率の向上を図ります。さらに、従来の創業セミナーを「きくち起業塾」として内容を拡充し、伴走型支援を強化します。
新型コロナウイルス感染症で多大な影響を受けた中小企業などの経済再生支援を図ることを目的とした利子補給補助を実施します。

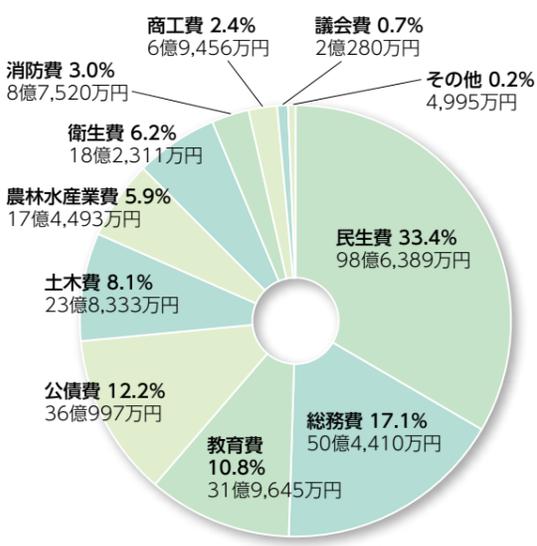
人財育成については、関係団体と連携し、引き続き「森の学校・きくち」を実施します。「プラチナ未来人財育成塾」についても、引き続き中学生を派遣し、未来のリーダーとしての素養を育む機会を提供します。
図書館については、中央図書館と学校図書館との連携を進め、児童・生徒の発達段階に応じた読書活動を推進します。また、市民の図書館での調査研究を支援するとともに、資料の充実を図り、課題解決型図書館を目指します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止および重症化予防の観点から、希望する12歳以上を対象にワクチン接種を実施するための体制を整備します。
健康寿命の延伸を図るため、特定健診や後期高齢者健診の受診率向上対策を実施し、健診結果に基づいた保健指導の充実に努めます。また、アプリを活用した健康ポイント事業など、自主的な健康づくりを支援する「市民健康プログラム」の充実を図ります。
まち「ウォーカーカブルシティ」の整備を進めます。
道路整備については、現在着手している路線の早期完了を目指すとともに、橋りょうなどの維持管理については、計画に基づき効率的に整備を進め、利便性の向上と交通の安全確保につなげます。

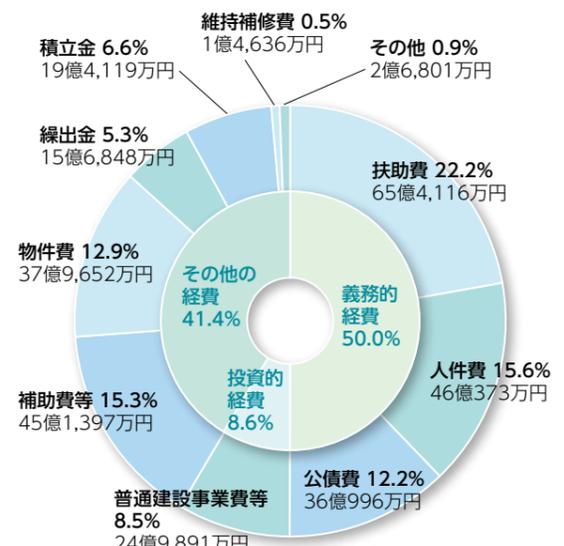
ホームページに「令和3年度予算書」と分かりやすい「市民向け予算説明書」を掲載していますので、ご覧ください。

歳出

総額294億8,829万円



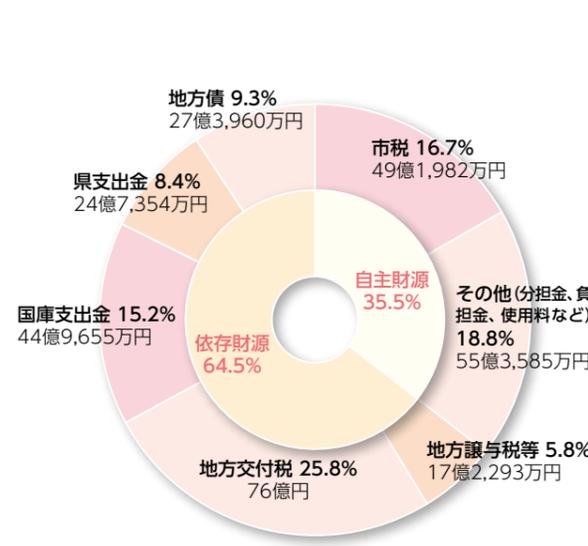
〔性質別〕



歳入

総額294億8,829万円

円グラフは「歳入」[歳出(目的別・性質別)]を表しています。



グラフで見る本年度の予算

財政用語

- 歳入**
- 自主財源 地方公共団体が自らの権能に基づいて自主的に収入するもの
- 依存財源 国や県の意思決定に基づき収入されるもの
- 市税 市民税や固定資産税など市民の皆さんからの税金
- 地方交付税 地域ごとの状況の違いを調整するため国税の一部から交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金 特定事業に対し国・県から使いみちを指定して交付されるお金
- 繰入金 基金から一般会計に組み入れるお金
- 市債 長期間利用される市の施設をつくるためなどに借り入れるお金

- 歳出**
- 義務的経費 人件費、扶助費、公債費を合わせた、毎年必ず支出が必要となる費用
- 人件費 職員の給料や退職金などの費用
- 扶助費 保育所の運営、生活保護、子どものための手当て、医療費の援助などの費用
- 公債費 過去の借入金に要する返済のための費用
- 普通建設事業費 道路工事や施設などを建設する事業に要する費用
- 物件費 消耗品や備品などに要する経費、委託料、光熱水費など
- 補助費等 公益的な事業などに対する補助金や負担金など
- 繰出金 一般会計から特別会計などに支出する経費